

楽しい10年間をありがとう！

今年はいよいよ末娘の菜乃香の小学校卒業の年となった。長女が入学してから早いもので10年が過ぎようとしている。3人の娘が自分の母校でもある境小学校にお世話になってたくさんの楽しい思い出ができた。一言でいえば「子供をダシに親が遊んだ10年間」か・・・はくうんぼく最後の年に当たって印象に残る事柄を記しておこう。長くなってしまふかもしれないが、最後に免じて許していただきたい・・・

○そして「おやじの会」は続く・・・

長女が入学した当時はPTA活動は母親に任せっきりで、ほかの保護者の方々とも挨拶を交わす程度のお付き合いだった。そんな中、3年生の時に父親たちで集まる「おやじの会」なるものを結成し定期的に飲み会を開くようになった。4年生になって若い女性の先生が担任になると活動は更に活発化し、何か行事がある前に「打ち合わせ」と称して集まり、何もなければ「反省会」「慰労会」「忘年会」「企画会」と適当な理由をつけて会を持った。女性だけの「母親の会」も派生、まさに子供をダシにして親が楽しんでいただけだが、そのおかげでいろいろなことが円滑に楽しく回って行った。小学校を卒業してからもさすがに回数は減ったが、時には子供たちや転勤された担任の先生も交えて会は続いている。最近では子供たちから「そろそろ、おやじの会やろうよ」と声があがることもある。幼馴染の子供たち同様、親同士も一生の仲間ができたと感謝している。次女、三女のときもそれぞれオヤジ達の飲み会があって、いろいろな企画話や役員決めなど、母親任せがちになりがちなPTA活動に参加するいいきっかけだった。

○富士見 OKKOH「Tシャツ」作り

長女が3年生の時、子供たちが初めて富士見 OKKOH のドッジボール大会に参加することになった。わずか1日だけの大会だけれどお揃いの「Tシャツ」を作ろうという話が出た。枚数が少ないこともあって、業者に頼むと1000円以上はかかってしまう。それならオヤジたちで自作しようということになった。子供が寝静まった夜8時過ぎに集合し作業開始。この当時はシルクスクリーン印刷。Tシャツに版を押し当てインクを刷り込むのだ。片面をプリントすると乾くまで待たなくてはならないのでそれまでは休憩となる。当然のようにそれぞれが酒とつまみを持ち寄って来ているので、いつしか飲み会モードとなり…インクがすっかり乾いても宴会は終わらない。やっと作業再開・・・わずか15枚のTシャツを刷り上げ、終了したのは午前2時。しかし、この年は直前に豪雨災害があり大会は中止、記念すべきオヤジたちの力作・第1号が日の目を見ることはなかった。

翌年からはこれが恒例行事となり、5年生の時には子供たちと先生でバックのみプリントして完成したのだが、仕事を取られたオヤジたちは「やっぱりフロントにもワンポイント欲しい…」などと理由をつけ、「恒例の作業」を行ったのだった。6年生になるとフルカラー昇華プリントの新システムを導入。一人ひとり別々の背番号や名前を入れるなどデザインにも凝って行った。この年はOKKHOの踊り連にも参加するというので親の分も作成。そのおかげもあってかドッジボールは優勝！踊り連も町長賞と最高の成績を得ることができた。これは次女、三女の学年へも引き継がれ、オヤジたちの飲み会の都合のいい理由となっていたのだが、今年はずいぶん親子の共同作業として計画され、母親たちを中心に60枚を一気にプリント、丁寧な仕上がりになった。調子に乗ってPTAバレー大会用に作った年もあったりして…Tシャツに対する思い入れは尽きない。…ほかの学年のも手伝ったりしたし、最後に免じて10年間の全デザインを乗せちゃってもいいですか？



三女3年
境ファイターズ



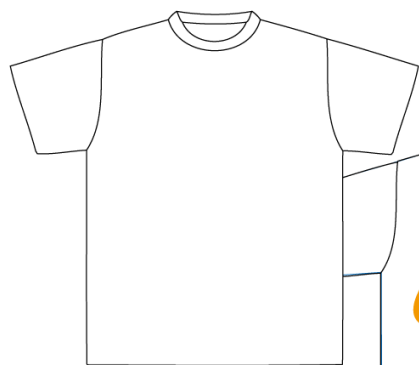
三女4年
境ファイターズ



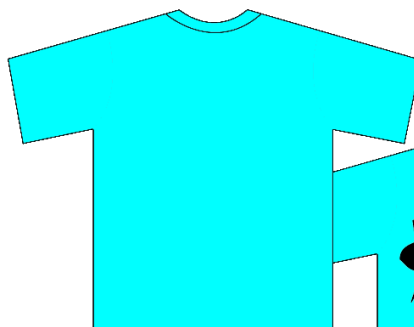
三女5年
アフロ



三女6年
八咫鳥 SAKAI



長女6年
PTAバレー



次女6年
PTAバレー



○境の財産「スケートリンク」

自分も子供のころ、毎晩滑った高森のスケートリンク。昨今はリンクを作るかどうかで毎年議論になっている。私がPTA役員をやらせていただいた時も、どうするか理事会で話し合いを続けた。富士見町境ならではのモノをなんとか存続したいという思いは誰も変わらないが、苦勞の割には使用頻度が低いのが難点だった。じゃあ、やると決まったらただ氷を作るだけでなく、リンクに人を連れてくることを考えよう！とダメ元、無理元でアイデアを出しあった。ポイントカード、イルミネーション、氷上運動会、アイスキャンドル、カーリング・・・遊び道具としてのイスやホッケー道具も置いてみた。なんとか予算も工面してもらい、役員の方々には大変なご苦勞をいただいた。残念ながらこの年は暖かな冬で滑走できた日数は少なく、氷上遊びという色が強くなって本来のスケートという趣旨からは

だいぶ外れてしまったが、みなさんに喜んでもらえて嬉しかったなあ。これからもいろいろと大変でしょうが、他にはない境の財産を活かす工夫と努力を続けて行ってほしいと思う。

長くなってしまいました…思い出は尽きません。飲み会での冗談半分のアイデアのために奔走してくれたお父さん方、「おいおいまた？次は何？」とあきれながら協力してくれたお母さん方、モンペ級の要求に応えてくれた学校の先生方、この10年間に関わっていただいた全ての皆さんに感謝感謝です！最後に境小学校のますますの発展を祈りつつ、10年目の「はくうんぼく」のペンを置きます。10年間、本当にありがとうございました。

ああ寂しい……